令和5年12月7日

育報奖	里 給事 場	貝
1	ウクライナ避難民に対する生活支援の状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 2
2	令和5年度足立区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定の更新について	. 6
3	「L・フェスタ2023あだち」の開催結果について・・・・・・・・	. 9
4	「第4回足立レインボー映画祭」の開催について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 11
5	「ジャパンフェスタ in ADACHI 2024」の開催について・	· 12
6	東京ヴェルディ㈱連携協定 足立区民観戦デーの実施について・・・・・	14
7	中学生「スポーツ体験デー」の実施について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 16
8	パラスポーツイベントの実施について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 18
9	関東・東京都女子フットサルリーグ2023in足立の実施結果について・	• 21

【参考】《子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告事項》

- ※ 資料は、子ども・子育て支援対策調査特別委員会(地域のちから推進部)の報告 資料にあり
- 1 足立区立学童保育室の指定管理者業務評価結果について

(地域のちから推進部)

	7和3年12月7日							
件名	ウクライナ避難民に対する生活支援の状況について							
所管部課名	地域のちから推進部地域調整課							
	ウクライナから避難された方々に対する支援の状況について、次のとおり報告する。また、避難民に対し生活状況を尋ねるアンケートを実施したので、あわせて報告する。							
	 1 足立区における避難民の受入状況 (1)令和5年10月末時点の人数 73名 (2)受入人数の推移 							
	令和4年度							
	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月							
	転入 4 5 8 22 13 2 9 5 1 4 1 1							
	転出 1 1 1							
	合計 4 9 17 39 52 52 54 63 67 66 67 71 71 71 72 72 73 73 73							
内容	2 避難民への主な支援状況 (1) 区の支援(令和5年10月末時点実績) ア 一人10万円の生活支援一時金の支給(74人、740万円) イ スマートフォンの無償貸出(43人) ウ 自転車の無償貸出(3台) エ 区開催イベントへの招待(足立の花火、防災講演会など5件) オ 日本語適応指導講師およびあだち日本語学習ルームの利用(4人) カ 転入直後の面接(75人)および日々の相談対応(週平均1~2件) キ 国や都、その他団体からの支援情報の共有(月平均1~2件) (2) 国や都、日本財団などの支援(令和5年10月末現在) ア 国(出入国在留管理庁)							
	支援種別							
	選難民1人あたり2,400円/日 親族や知人がい 出近地							
	生活費 ※ 2 人目からは 1,600 円/日 ない方が対象							
	イ 日本財団 (公益財団法人)							
	支援種別 内容 備考							
	避難民1人あたり 100 万円/年 親族や知人が							
	生活費 ※ 1家族あたり上限300万円/年 いる方が対象							
	W 13000070 1 17 1 1 073 0 71 71 1							

ウ 東京都(生活文化スポーツ局、住宅政策本部など)

支援種別	内容
都営住宅の 提供	①家賃や光熱水費、共益費が無償 ②家具や Wi-Fi ルーターを手配 ③区内避難民の 9 5 %以上が利用
交流会開催	都営住宅居住者との交流 (2件)
都営交通無	都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム(都電
料券の配布	荒川線) および日暮里・舎人ライナーで利用可能

エ NPO法人などの支援団体による支援

支援種別	内容
	①平和祈念交流会(1件)
交流会・イベ	②コンサート (1件)
ント開催	③プラネタリウム(4件)
	④防災講演会(1件)
食料支援	フードパントリーなどによる支援(月1度ほど)
学習支援	区内NPO法人や日本語ボランティア教室による
子百义饭 	日本語学習支援
ヘアカット	区内在住の支援者による無料のヘアカット支援
支援	(52件)

3 生活状況アンケート結果

別紙1のとおり

4 今後の方針

(1) 就職について

四谷にあるウクライナ避難民専用の雇用サービスセンターを案内しつ、日本語学習を通して日本での就職活動の円滑化をサポートする。

(2) 日本語学習

個々の希望やレベルに応じた学習先を案内するなど、引き続き日本語 学習をサポートする。

(3)交流支援

日本人と交流する場や、ウクライナ人同士が交流できる場づくりを検 討していく。

(4) 悩みごと

定期的な生活状況アンケートの実施などで困りごとを把握し、より支援が必要な家庭には訪問による詳しい聞き取りを行うなど、安心して日本で暮らしていくための支援を検討していく。

ウクライナ避難民生活状況アンケート調査結果

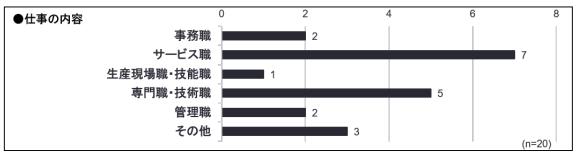
1 概要

対 象:18歳以上のウクライナ避難民59人

回収数:40人(回収率67.8%)
※ 45世帯中32世帯から回答あり

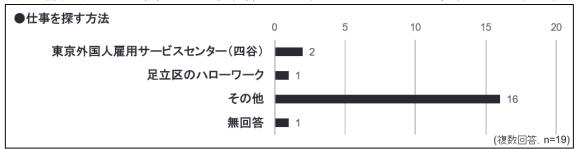
2 就職状況

回答があった40人中20人が「現在仕事をしている」と回答。職種分類は以下のとおり。



3 求職状況

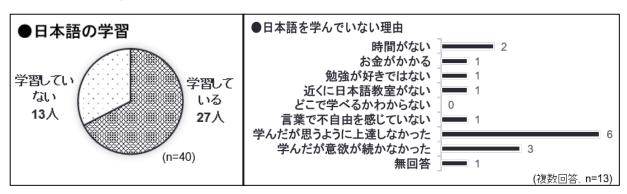
「仕事を探している」と答えた19人にどのように仕事を探しているか尋ねたところ、結果は以下のとおりとなった。四谷のサービスセンターは避難民専用の窓口(ウクライナ語相談可・避難民のみを対象とした就職案内あり)となっているが、利用が2名に留まっている。

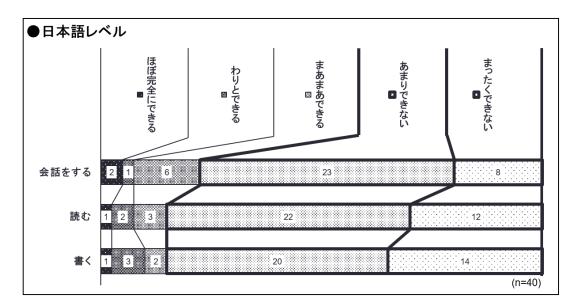


※ 「その他」の記述回答:「周囲の日本人、ウクライナ人から情報を得る」 「インターネットで調べる」「ビジネスイベントへの参加」など

4 日本語学習

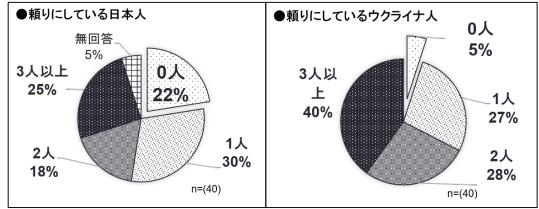
「日本語を学習している」と回答した人は40人中27人となった。また、「日本語を学習していない」と回答した方の理由を尋ねたところ、上達や意欲の問題を中心に様々であった。 学習をしている人は多いものの、全体の約7割が「あまりできない」「まったくできない」 と回答している。





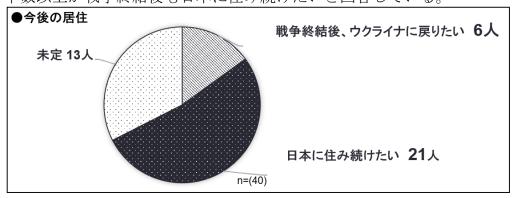
5 交流

日本人とのつながりがない方が全体の2割以上を占めている一方で、9割以上の方がウクライナ人同士のつながりがあると回答している。



6 今後の居住

半数以上が戦争終結後も日本に住み続けたいと回答している。



7 悩みごと(記述式回答)

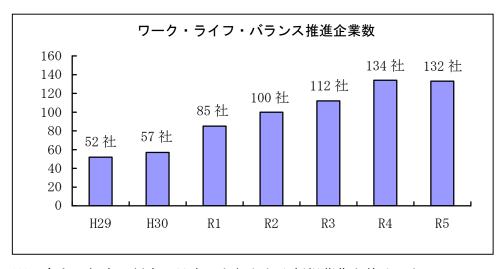
日本語学習や就職活動に関する悩みを中心に、下記のような悩みごとが確認された。

- (1) 職歴や日本語能力が十分ではないため、日本での将来の仕事について心配している。
- (2) 日本に残りたいと考えているが、今の仕事の給料が非常に少額なため、生活していけるか不安である。
- (3) 自分の日本語レベルが低いことと、通訳者を探すこと。
- (4)戦争が最大の心配である。

令和5年12月7日

件名	令和5年度足立区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定の更新について
所管部課名	地域のちから推進部多様性社会推進課
	令和5年度足立区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定審査会にて、更 新企業を決定したため、以下のとおり報告する。
	 1 審査会 (1)日時 令和5年11月8日(水) 区役所南館12階会議室 (2)審査委員 地域のちから推進部長、産業経済部長、衛生部長 (3)オブザーバー 足立労働基準監督署副署長、弁護士、社会保険労務士 (4)認定期間 令和5年12月1日~令和8年11月30日(3年間) (5)更新企業数 32社(認定期間が令和5年11月までの企業)
h	2 認定企業総数(令和5年12月1日時点) 132社

内 容



- ※ 令和5年度は制度の見直しを行うため新規募集を停止した。
- ※ 令和5年度更新対象企業のうち2社は未申請のため総数は減少した。

3 令和5年度更新企業一覧(認定レベル別50音順)

3 2 社 (★★★: 2 5 社、★★: 2 社、★: 5 社)

No.	申請区分	企業名	業種(※)	認定ランク
1~ 21	更新	足立成和信用金庫 (区内 20 支店含む)	協同組織金融業	***
22	更新	内田化工株式会社	石油製品•石炭製品 製造業	***
23	更新	医療法人社団 健整会	医療業	***
24	更新	有限会社 新興建築サービス	技術サービス業	***
25	更新	社会福祉法人平和と善 聖母のさゆり保育園	社会保険・社会福 祉・介護事業	***
26	更新	株式会社 seeDNA	専門サービス業	**
27	更新	富士解体工業株式会社	職別工事業(設備工 事業を除く)	**
28	更新	三祐医科工業株式会社	業務用機械器具製 造業	*
29	更新	三和建設工業株式会社	総合工事業	*
30	更新	認定こども園 杉の子幼稚園	学校教育	*
31	更新	株式会社 東洋堂ハウスSP	総合工事業	*
32	更新	社会福祉法人 西新井だいわ会	専門サービス業	*

[※] 総務省 統計基準等のうち「日本標準産業分類」の中分類を使用

4 認定企業 業種分類 (※) 内訳

	医療・福祉	建設業	製造業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	・サービス業 学術研究、専門・技術	教育・学習支援業	生活関連サービス業	複合サービス事業	(他に分類されない)サービス業	合計
***	16	21	4	2	0	5	22	2	4	0	0	1	13	90
**	2	7	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	15
	3	7	8	0	2	2	0	0	1	1	1	2	0	27
*	J													

[※] 総務省 統計基準等のうち「日本標準産業分類」の大分類を使用

5 今後の方針

- (1) ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定制度運用開始から10年が 経過しているため、関連する法律や社会状況の変化、国等の類似事業を 踏まえ、制度の見直しを行っている。
- (2)性別による役割分担意識の解消など、男女共同参画社会の実現に関する啓発が、ワーク・ライフ・バランスの実現にもつながっていくことを、引き続き、企業だけではなく広く区民にも伝えていく。

	<u> </u>
件名	「L・フェスタ2023あだち」の開催結果について
所管部課名	地域のちから推進部多様性社会推進課
	区と足立区女性団体連合会の共催イベント「L・フェスタ2023あだち」 を開催したので、次のとおり報告する。
	1 目的 区民との相互理解や交流を深め、性別に関係なく、その個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現を目指す。
	2 開催日・会場 (1) 開催日 令和5年11月11日(土) 午後 1時から午後5時まで 12日(日) 午前10時から午後5時まで ※ 国の「女性に対する暴力をなくす運動」期間 11月12日(日)~11月25日(土) (2)会場 エル・ソフィア
内容	3 参加人数と主な企画 (1) 参加人数合計 2,728人 (2) 11月11日(土) 738人 ア 講座「大学生が思うジェンダーのあれこれ」 イ 講座「ハッピーエイジングの心理学」 ウ 絵本の読み聞かせ エ 認知症・介護予防コーナー、医療・福祉コーナー 等 (3) 11月12日(日) 1,990人 ア 講座「おしゃべりから始める私たちのジェンダー入門〜男性から見た生きづらさ〜」 イ 赤ちゃんから楽しめる「クラシックコンサート」 ウ ライブ・リーディング・シアター(声優が絵本等の作品を読み語り) エ 講座「知っておきたい!アフターピルと性感染症」 オ 大人が楽しめるおはなし会 カ 健康コーナー (4) 11月6日(月)~12日(日)エル・ソフィア1階ロビー展示ア [内閣府]女性に対する暴力をなくす運動
	イ 足立区の男女共同参画と性の多様性の取り組み 等

4 参加者の声(一部)

- (1) 昨年に比べて参加者の幅が広がっているように感じた。
- (2)10代から20代の若い方向けの内容の講座が増え、高校生の娘も熱心に聞き入っていた。

5 今後の方針

男女共同参画に関する重要な啓発機会である本イベントについて、今年 度の実施結果を踏まえ、今後も年齢・性別を問わず幅広い世代に来場して もらえるよう、女性団体連合会と検討して進めていく。

件名	「第4回足立レインボー映画祭」の開催について
所管部課名	地域のちから推進部多様性社会推進課
所管部課名 内	地域のちから推進部多様性社会推進課 第4回足立レインボー映画祭を次のとおり開催する。 1 目的 参加しやすい「映画」というツールを活用することで、区民等に性の多様性について考える機会をつくる。また、性的マイノリティの当事者や支援者によるトークショーを行うことで、より一層の理解促進を図る。 2 開催日・会場 (1)開催日 令和6年2月3日(土) (2)会場 東京芸術センター21階 天空劇場 3 主な内容(案) (1)「同性パートナー」をテーマにした映画 (2)「トランスジェンダー」をテーマにした映画 (3)性的マイノリティの当事者や支援者をゲストに招いたトークショー 4 周知及び今後の方針 (1)チラシ配布や区ホームページ掲載、SNSの活用により周知を行う。 (2)映画祭当日は、LGBT相談窓口やパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓等の周知も併せて行う。 5 参考 令和3年度までは区民による実行委員会が主催し、区は後援していた。

	<u> </u>
件名	「ジャパンフェスタ in ADACHI 2024」の開催について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課
	ギャラクシティ指定管理者が実施するイベント「ジャパンフェスタ in ADACHI 2024」を、次のとおり開催する。
	1 イベント概要 足立区から日本文化を発信して子どもたちへ継承していくことを目的 とする。
	2 開催年月日 令和6年1月13日(土)、2月11日(日)、2月12日(月)
	3 場所 ギャラクシティ
	4 主なプログラム (料金の記載があるプログラム以外は無料) (1) 西新井文化ホール
内容	ア こども狂言・こども神楽発表会 狂言コースと神楽コースのどちらかを受講した子どもたちが、講師 から学んだ成果を披露する。 イ デーモン閣下と日本文化
	日本の伝統文化に関する活動を約35年間続けているミュージシャン・デーモン閣下が日本文化を語る。
	ウ 上妻宏光 ニッポンの楽器 ファミリーコンサート (有料) 津軽三味線奏者・上妻宏光氏らが贈る、日本の楽器の学びや体験が
	盛り込まれた多彩な楽曲演奏コンサート ※ 料金:一般 4,000円、高校生以下 2,000円
	(2) まるちたいけんドーム (プラネタリウム) ア 浅野温子 よみ語り「新版・あだちの"足洗い屋敷"」
	足立にまつわる怪談のオリジナル脚本による読み語り イ こども活弁発表会
	無声映画の登場人物の台詞などをしゃべり、話の筋を説明する話芸 を活動写真弁士・佐々木亜希子氏から学んだ子どもたちがまるちたい けんドームで発表する。
	1,770 1 - 1 C)Line / Wo

(3) こども未来創造館

- ア ギャラクシティ百鬼夜行 妖怪の仮装をしてギャラクシティを歩き、みんなを怖がらせる。
- イ にほんぶようミニ体験 日本舞踊ならではの美しい所作と表現を体験
- ウ にほんのがっきを楽しもう! 小鼓や太鼓などの和の楽器にふれて奏でるワークショップ

5 今後の方針

- (1) イベントチラシを区内の小中学校に児童生徒数分配布する。
- (2) ビュー坊テレビでPR 動画を放映する。
- (3) あだち広報やホームページで情報を発信していく。

6 参考

「にほんぶようミニ体験」「にほんのがっきを楽しもう!」については、 朝日信用金庫創立100周年記念事業寄附を活用し開催する。

	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一							
件名	東京ヴェルディ㈱連携協定 足立区民観戦デーの実施について							
 所管部課名 	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課							
	東京ヴェルディ㈱との連携協定に基づき、区民の運動・スポーツに親しむ機会を広げる取り組みとして、「WEリーグ 日テレ・東京ヴェルディベレーザ戦 足立区民観戦デー」を次のとおり実施する。							
	1 日程 令和6年1月8日(月・成人の日) 午後2時キックオフ							
	2 試合内容 日テレ・東京ヴェルディベレーザ VS INAC神戸レオネッサ 戦							
	3 試合会場味の素フィールド西が丘(北区西が丘3丁目15番1号)4 招待・優待内容 () 内は正規の値段							
	小・中学生 22 歳以下 23~64 歳 65 歳以上							
内容	①ホーム自由席 着 席 260 席 立ち見 360 席 無料 (500 円) 無料 (1200 円) 無料 (1,900 円) 無料 (1,900 円) 無料 (1,200 円)							
	②バック自由席 着席 約 2,000 席100 円 (500 円)100 円 (1,200 円)500 円 (1,900 円)100 円 (1,900 円)							
	※ ①は200席を足立区席として開放(立ち見になる場合もあり)①・②いずれも発券手数料等220円がかかる。							
	5 対象 足立区在住、在勤、在学の方							
	6 当日のイベント (1) エスコートキッズ等 (予定) ア 対象							
	区内在住・在学の小学校1年生から6年生までの児童 イ 内容							
	(ア) エスコートキッズ 11名							
	(イ)選手入場時の通路をつくり拍手で迎える「花道」体験 40名							
	※ いずれも本人、保護者ともに招待席もしくは優待席の申込 が必要							

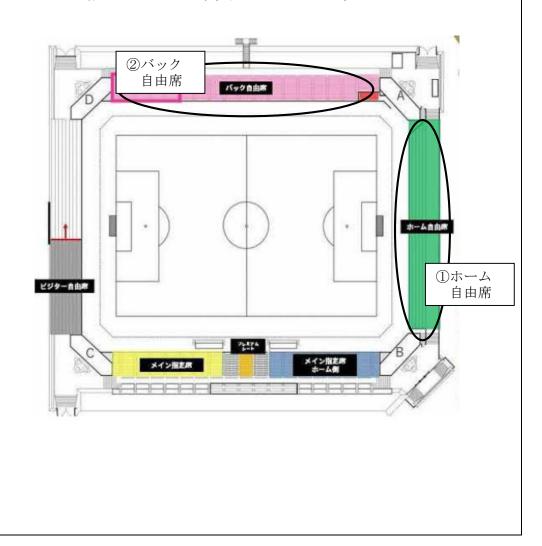
- (2) 足立区バトン・チア連盟の演技披露
- (3) 同日開催されている成人式出席者に対するプレゼント
 - ア ベレーザ選手からのお祝いメッセージ(動画)
 - イ 3月開催公式戦の無料観戦チケットプレゼント (詳細調整中)
 - ※ 成人式配付パンフレットに1月下旬公表予定の情報のリンク 先を掲載予定

7 申込方法

東京ヴェルディ(㈱専用申込フォームで12月11日から受付(先着)

8 PR方法

あだち広報12月10日号、区ホームページ、SNS



令和5年12月7日

	令和5年12月7日							
件名	中学生「スポーツ体験デー」の実施について							
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課							
	1 目的 プロスポーツチームをはじめとする様々な競技団体の選手などから指導を受け、競技技術の向上の場、及び新たなスポーツを体験する自己研鑽の場とする。							
	 2 指導(指導者派遣・運営) プロスポーツチーム(関係団体を含む)または、各競技団体の上部団体などによる指導及び運営。 (1)サッカー 							
	東京ヴェルディ ヴェルディ事業部在籍元 J リーガーほか (2) バスケットボール 関東大学バスケットボール連盟 所属監督ほか (3) バドミントン							
	東京都バドミントン協会 日本代表コーチほか (4) バレーボール 東京ヴェルディ バレーボールチーム所属選手ほか (5) 野球							
内容	機読売巨人軍 ジャイアンツアカデミー在籍元プロ選手ほか							
	3 日時 令和6年2月12日(月) ア 初心者① 午前 9時45分~午前11時00分 イ 経験者① 午前11時15分~午後 0時30分 ウ 初心者② 午後 1時30分~午後 2時45分 エ 経験者② 午後 3時00分~午後 4時15分 各回75分							
	大体育室 A 大体育室 B 小体育室 多目的 A 多目的 B ア バドミントン サッカー バスケット 初心者① (32) (20) ボール (30) イ バドミントン サッカー バスケット							
	経験者① (32) (20) ボール (30) ウ バドミントン バレーボール バスケット サッカー 初心者② (32) (20) ボール (30) (30) 野球 (30)							
	エ バドミントン バレーボール バスケット サッカー 経験者② (32) (20) ボール (30) (30) 野球 (30)							
	()内の数字は募集予定定員							

※ 雨天時は室内で、サッカーは座学、野球はトレーニングの予定

4 対象

区立中学校在校生、区内在住中学生

※ 自分が経験のある競技、経験のない競技ともに申込可

5 募集予定人数

合計 448 名

(各回、競技ごとに定員あり、事前申込制、応募者多数の場合抽選)

6 会場

足立区総合スポーツセンター

7 参加料

無料

8 申込方法

区ホームページ専用フォーム、電話(区担当課へ直接) 令和6年1月上旬に申込開始、1月20日締め切り

9 PR方法

あだち広報1月1日号、区ホームページ、区立中学校保護者宛メール、 区立中学校長宛通知

10 その他

教育委員会と連携し、体験会に参加しやすい配慮をする。

- (1) 原則、区立中学校の部活動を休みとする
- (2) 生徒から参加の相談を受けた場合は、体験デー優先することを許可する。

-	令和5年12月7日		
件名	パラスポーツイベントの実施について		
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課		
	今後におけるパラスポーツイベントの実施について、次のとおり報告する。		
内容	1 パラスポーツ体験会 ~知って、エンジョイ!パラスポデー!~ (1)日時		
	カーレット 車いすパスケットボール サウンドテーブルテニス		









(4) 主催 足立区、足立区スポーツ推進委員会

(5)協力 足立区視力障害者福祉協会、NPO法人カーレットジャパン協会 東京都車いすバスケットボール連盟

2 第2回あだち「レク・ボッチャ」大会

(1)日時令和6年2月18日(日)午後1時から4時まで(予定)

(2)会場総合スポーツセンター

(3) 内容

公式ルールを基本に、誰でも参加しやすいルールのボッチャ大会 ア 1チーム3~6名のチーム編成

イ 事前申込制 24チーム(応募多数の場合は抽選)

ウ 花畑学園ボッチャ部の招待参加を調整中

(4) 主催

足立区、足立区スポーツ推進委員会

3 三澤記念東京都車いすバスケットボール大会

(1)日時(予定)

令和6年2月25日(日) 午後0時30分から5時30分まで

(2)会場総合スポーツセンター

(3)内容

東京都車いすバスケットボール連盟所属チームによる交流戦

(4)主催

足立区、東京都車いすバスケットボール連盟

4 パラスポーツミーティング

(1) 日時

令和6年3月(詳細日時は調整中)

(2) 会場 (予定) 庁舎ホール

(3) 内容

パラスポーツ推進についての意見交換会

(4) 主催足立区

5 スペシャルクライフコートフェスティバル

(1)日時(予定)

令和6年4月29日(月・祝) 午前10時から午後3時30分まで

(2)会場総合スポーツセンター

(3)内容

スペシャルクライフコートを中心とした障がいの有無にかかわらず どなたでも一緒にスポーツを楽しめるイベント

(4) 主催 足立区

件名	関東・東京都女子フットサルリーグ	2023in 5	足立の実施結果について	
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課			
	1 実施日・実施内容 (1) 令和5年10月28日(土) 東京都女子フットサルリーグ 内容 時間 参加人数			
内容	第一試合(観戦) 親子フットサル体験会	10:30 11:55~	観戦 約70名21組・42名	
	○ 5 歳児クラスとその保護者第二試合(観戦)第三試合(観戦)	12:55 13:20 14:45	(申込数27組) 観戦 約50名	
	エキシビションマッチ ○東加平キッカーズ女子 V S 都リーグ選抜チーム	15:55~ 16:55	東加平キッカーズ 低学年・高学年 各1試合 観戦 約50名	
		<u> </u>	ットサルリーグ	
	内容 親子フットサル体験会 ○小1・2年生とその保護者 第一試合(観戦)	時間 9:50~ 10:50 11:30~	参加人数等 19組・38名 (申込数25組) 約80名	
	第二試合 (観戦) 親子フットサル体験会 ○小3・4年生とその保護者	13:20~ 15:10~ 16:20	約70名 約70名 14組・28名 (申込数21組)	
	第三試合(観戦)	16:40~	約40名	
	 2 アンケートの主な感想 (1)体験会参加者 ア 子どもと一緒にできたことがよかった。 イ 久しぶりに身体を動かし、スポーツをやるきっかけとなった。 ウ もっとフットサル (試合)をやってみたい。 (2)観戦者 ア チームユニフォームなどが飾ってあり、雰囲気がよかった。 イ 実況付きであったため、わかりにくいところが明瞭になった。 ウ 選手の声やボールを蹴る音など、コミュニケーションを感じながら近くで見られたのが面白かった。 			

エ 自分もあんなに上手にできるように頑張りたい。

オ 切り替えの早さや、強いシュート、滑らかなドリブルなど、迫力 があり、すごさがわかった。

カ レベルが高く、女子スポーツも頑張っていることを感じた。

3 会場

総合スポーツセンター大体育室

4 主催

関東フットサル連盟、東京都フットサル連盟、足立区

5 今後の方針

観戦に対する良い感想が多かったことを踏まえ、「みるスポーツ」の 裾野を広げていく。